



NO.1430
9月10日号
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二四四五八
F四三二四四五七

9月議会が始まる

小麦や大豆の生産性向上など 補正予算額 約3億7千万円

網走市議会第3回定例会が5日開会されました。一般会計補正予算、介護保険特別会計、水道事業、簡易水道事業、下水道事業などの補正予算が提案されました。

また、市職員の旅費支給条例の、市道嘉多山中央線を廃止し道道に昇格することなどが提案されました。

令和4年度決算審査特別委員会が14人の議員で行われ、山田議員(民主市民ネット)が委員長に古田議員(研政会)が副委員長に就任しました。

会期は26日までで7日、8日に請願の審査を行います。

9月議会の日程

日	内容
7 (木)	総務経済委員会(陳情審査)
8 (金)	文教民生委員会(請願審査)
12~14	一般質問 12名
15 (金)	決算審査 総務、商工費など
19 (火)	決算審査 土木、衛生費など
20 (水)	決算審査 民生、教育費など
22 (金)	決算審査 とりまとめ
26 (火)	議案の審議決定、閉会

主な補正予算案件

項目名と内容	金額
麦大豆生産技術向上の補助金	農業機械やソフト 1億 1732万
畑作生産体系の変化を支援	大豆コンバイン等 8316万
ホタテ稚貝へい死対策事業	原因の究明 150万
地域資源活用型の観光事業	空から流水観光 225万
除雪作業車整備事業	大型ロータリー 3117万
住環境改善補助金	リフォーム補助金 1000万
厚生病院脳神経外科運営支援	3619万
コロナワクチン接種事業	8回目 全市民対象 7711万
廃棄物広域化推進協議会	大気質の調査等 226万
介護保険の基金積立金(1億2547万)と返還金	2億 128万

高すぎる国保料金の減免を 福祉灯油を実施せよ

村椿議員の一般質問は倍です。子どもの均等割を減免するよう求めます。

①国保料について②交通安全について③除雪について④熱中症対策について、8番目に質問します。

国保料金は国の負担を削ったことや均等割が子ども一人に3万7千円もかかります。夫婦と子ども2人の4人家族で41万6千円で健保の約2

松浦議員は、①福祉灯油について②物価高騰から市民の暮らしを守る対応について③生理の貧困について、12番目に質問します。

灯油代が127円と高騰が続いています。物価高騰に見合う金額の福祉灯油の実施を求めます。



松浦 奮闘中

9月に入っても暑い日が続いていますが、さすがに身体に堪えてきました。

夏バテとまでにはなっていませんが、スッキリしませんね。議会も5日から始まりましたから体調を整えて頑張りたいと思います。

北見市長選が始まっているので、今日(5日)は北見に泊まって、6日の朝から大場市長候補の車に乗ってアナウンサーをすることになっています。先日北見市内の小学校が二日間休校になる猛暑がありました。大場候補は、子どもたちの命を守るため、全ての小中学校の教室にエアコン設置、子ども医療費を義務教育まで無料、学校給食費ゼロ、子どもの国保料ゼロ、玄関前の置き雪ゼロなどの政策を掲げています。

昨年の網走市長選を思い起こすような政策の内容なので、おおいに期待しているところです。現職陣営の政策も同じような政策が並んでいるようですが、それなら、なぜやってこなかったのかと言いたいですね。大場候補勝利に向けて頑張ります。

村 賢治



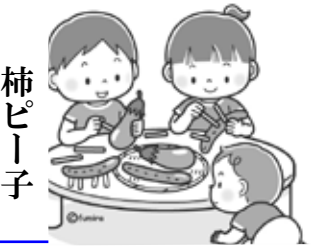
2015年に福島県漁連との「関係者の理解なしに海洋放出以外に汚染水をセメント固化して流れないようにする方法もあります。また、地下水流入を止めないかぎり海洋放出し続けることとなります。放出ありきで進める岸田政権は許せません。

福島大学の柴崎直明教授は、「海に流す前に、まずは地下水の流入を止めろ」といいます。凍土遮水壁は効かず、毎日140mの汚染水が発生しています。CSM工法という地下連続壁掘削機と回転カッターを用いて土とセメントを地下で攪拌混合してコンクリートの壁を作ります。実績のある工法で、広域的につくっても凍土遮水壁(340億)より安くできます。東電と政府はこの案をダメだと拒否し、放出しました。

中国の輸入禁止措置への対策として1千億円も使うより、国民の声を聞き、今すぐ海洋放出をやめて、地下水の流入を止めるのが先でしょう。

流水

みなさんのお宅では、お盆に人は集まりましたか? 義父が他界し、義母が施設に入ってからはお盆のお墓参り、義母に会いに行く拠点がいつしか我家になっていました。▼年に一度大集合し、みんなの顔を見られるのは嬉しいものの、家中の掃除、買い出しに始まり、布団や食事の準備、ちびっ子の相手とおおわらわ。おしゃべりに花をさかせながらも夜になつたら花火、大人は麻雀。足りないものはない? お風呂は順番にね、と。翌朝、じゃあまた来年ね、と見送って家に入ると夫と二人グツタリ: ▼義母が元気だった頃はたいへんだつたらうなあ、と。もっと前、私が子どもの頃、盆暮れには母方の実家にワンサカ、子どもたちは走り回り、大人たちは飲み食いし、親たち特にその家の叔母には苦勞かけたな、と。今になつてつくづく感謝です。それでもどれも楽しい思い出。順繰りに役割もまわってくるもの、みんな仲良く元気に集えることは、幸せなこと、思いを新たにしたい夏でした。



柿ピー子